

青少年育成大谷場東地区会 会長 会田 耕吉

春の事業は「南極をもっと知ろう」でした。この催しは、一昨年の秋、大谷場東小学校のチャレンジスクールで高学年を対象に行いましたことを下級生にも理解できるようにお願いしたものです。

南極は極寒のため自然がそのまま残り、地球の成り立ち等がわかる資料が残っています。それらを研究することはこれからの地球を知ることにつながります。今回来ていただきました講師の方は南極基地での越冬しており、貴重な生の体験談をお聴きすることができました。

また秋には「おたのしみ会」を開催しました。お菓子すくい、借り人

大谷場東小学校 校長 船田 敦史

本校の校長を拝命し、2年が経とうとしています。この2年間だけをとってみても、子どもたちを取り巻く環境は大きく変化しているように感じます。コロナ禍の様々な制限により、人と人とのつながりが薄れたといわれています。反対に、制限が緩和され、コロナ禍以前に戻す動きによって、子どもたちの生活様式の変化が加速しているように思います。

その間、常に学校に寄り添ってくれたのが、青少年育成大谷場東地区会の皆様です。「今、子どもたちに対して何ができるか」と問い続けながら、工夫・実践し続ける姿には、教育の原点を見る思いがします。

勉強ができることは大事。同じように、人の痛みが分かること、困

レース、パン取りレースを全学年の児童・保護者、校長先生をはじめ多くの先生方に参加していただきました。半日でしたが素晴らしい催しができました。

その他「通学路を知ろう」や巡回活動がとどこおりなくできましたことは、保護者の皆様のお力添えがなくてはできませんでした。

これからも校長先生をはじめ諸先生方のご協力を得て子どもたちを見守って行く所存です。この1年、ありがとうございました。



ている人にやさしい言葉をかけられること、周りの人に感謝の気持ちを表せることも大事。社会がどれだけ変化しようとも、この価値観は変わりません。そして、そのような心情を育むためには、幼少期に様々な人と関わり、様々な体験をすることが重要と考えます。学校、家庭以外の場所、そのひとつが育成会の皆さんとの関わりです。ありがたい存在です。今後も引き続き、子どもたちの健全育成のため、御協力を賜りますようお願いいたします。